

# 肥後菊まつり

《日時及び場所》

令和4年11月15日(火)~12月4日(日)

水前寺成趣園内 いこいの広場・展示館

※午前9時~午後4時30分まで(成趣園の入園料が必要です。)

【肥後菊鑑賞会】 愛寿会の会員の方による解説が聞けます

・11月20日(日曜)11:00~12:00

・11月26日(土曜)11:00~12:00

※いこいの広場 肥後菊花壇前にお集まり下さい



(肥後菊)

肥後菊は宝暦年間に時の藩主・細川重賢公が藩士の精神修養として栽培を奨励されました。1887年(明治20年)には「愛寿会」が結成されました。愛寿会も肥後菊を門外不出としていましたが1929年(昭和4年)に会規を改め一般にも開放されました。

その後、肥後菊中興の祖といわれている、肥後藩士 秀島七右衛門が栽培法を「養菊指南車」として著述しました。現在作られている花壇作りは、秀島流に依ったものです。

出水神社では愛寿会の指導のもと、肥後菊の栽培に取り組んでおります。

展示館内でのマスク着用。手指消毒等ご協力をお願い致します。



# 水前寺成趣園

初代熊本藩主・細川忠利公が御茶屋を建てたのが始まりで、三代藩主・細川綱利公が大規模作庭をし、1671年(寛文11年)に完成。阿蘇の伏流水をたたえる回遊式庭園で、国の名勝・史跡に指定されており、350年の時を超えた現在でも当時の姿が偲ばれる大名庭園であります。

## 出水神社



明治10年の西南戦争の翌年、旧熊本藩士たちにより、人心の安定、熊本の街の復興発展を願って創建。肥後細川家初代細川藤孝(幽斎)公ほか三柱を主祭神とし、歴代藩主とガラシャ(二代忠興公の妻)が祀られています。



▲ガラシャ御朱印帳

## 古今伝授の間



永青文庫所有

元々は400年前に京都御所の中に建てられた学問所。細川幽斎公が後陽成天皇の弟、智仁親王へ古今和歌集の解釈を伝授した場所で、1912年(大正元年)に成趣園内に移築。熊本県重要文化財に指定されています。

## 能楽殿



細川家は代々能楽を愛好しており、神社創建と同時に建立(1878年、明治11年)。1965年(昭和40年)火災で焼失。その後旧八代城主松井家より、1986年(昭和61年)に移築。毎年8月第一土曜日に新能が開催されている。

## 夏目漱石の句碑



漱石は熊本時代に成趣園を度々訪れ、俳句をたくさん詠んでいました。2016年の熊本地震で倒壊した鳥居の石を活用して建立しています。

- ①「湧くからに 流るるからに 春の水」
- ②「しめ縄や 春の水湧く 水前寺」(漱石の自筆)
- ③「鼓うつや 能楽堂の 秋の水」

**開園時間** 年中無休

8:30~17:00 (入園16:30まで)

※イベント時は変更になる場合があります。

**入園料**

● (16才以上) ...400円

● (6才~15才) ...200円

● 団体30名以上は割引あり

**お問合せ**

〒862-0956

熊本市中央区水前寺公園8番1号

TEL 096-383-0074

